

令和3(2021)年 3月 18日

報道関係者
地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター

オンライン企画展「明石博高と島津源蔵—京の近代科学技術教育の先駆者たち—」開催のお知らせ

国際日本文化研究センター(日文研)は、このたび日文研ウェブサイトにて、オンライン企画展「明石博高と島津源蔵—京の近代科学技術教育の先駆者たち—」を開催いたします。本展は「京都の近代科学教育」をテーマに、日文研が神田外語大学ならびに島津製作所 創業記念資料館と共催でおこなうものです。

記

○タイトル: オンライン企画展「明石博高と島津源蔵—京の近代科学技術教育の先駆者たち—」

○会場: オンラインで開催

○特設ウェブページ公開: 2021年3月下旬

○参加無料、申込不要

○特設ウェブページ URL

https://events.nichibun.ac.jp/pc1/ja/online/akashi_hiroakira_and_shimadzu_genzo/

○概要:

東京奠都に表象される新時代の到来とともに京都の経済は大きく衰退。低迷から脱却するべく、官民一丸となって様々な近代化事業に着手していきました。そのとき、京都近代化の要となった産業や医療、理化学革新の中心的役割を果たしたのが、今回の企画展でスポットを当てる明石博高(あかしひろあきら)と島津源蔵(しまづげんぞう)です。彼らは、幕末の京都に根付いた蘭学や出版文化を受け継ぎつつ、お雇い外国人たちから新たに摂取した豊富な知識のもとに、様々な制度・施設・モノを生みだしていきました。本展では、日文研、神田外語大学、島津製作所 創業記念資料館の豊富な資料をもとに、明石と島津の尽力により全国に異彩を放った近代科学技術教育の歩みに迫ります。

○展示内容:

日文研: 宗田文庫コレクションを中心に、京都近代化の立役者である明石博高の旧蔵品や、明石と所縁が深かったお雇い外国人に関連する貴重な資料を出展。

神田外語大学: 江戸期～明治初期の京都蘭学・洋学関連資料を出展。

島津製作所 創業記念資料館: 創業者である初代・島津源蔵にまつわる資料を出展。

本件お問い合わせ先:

国際日本文化研究センター 総合情報発信室特任助教 光平 有希(みつひら ゆうき)

TEL: 075-335-2237 (総合情報発信室) E-mail: akashi-shimadzu@nichibun.ac.jp

○みどころ:

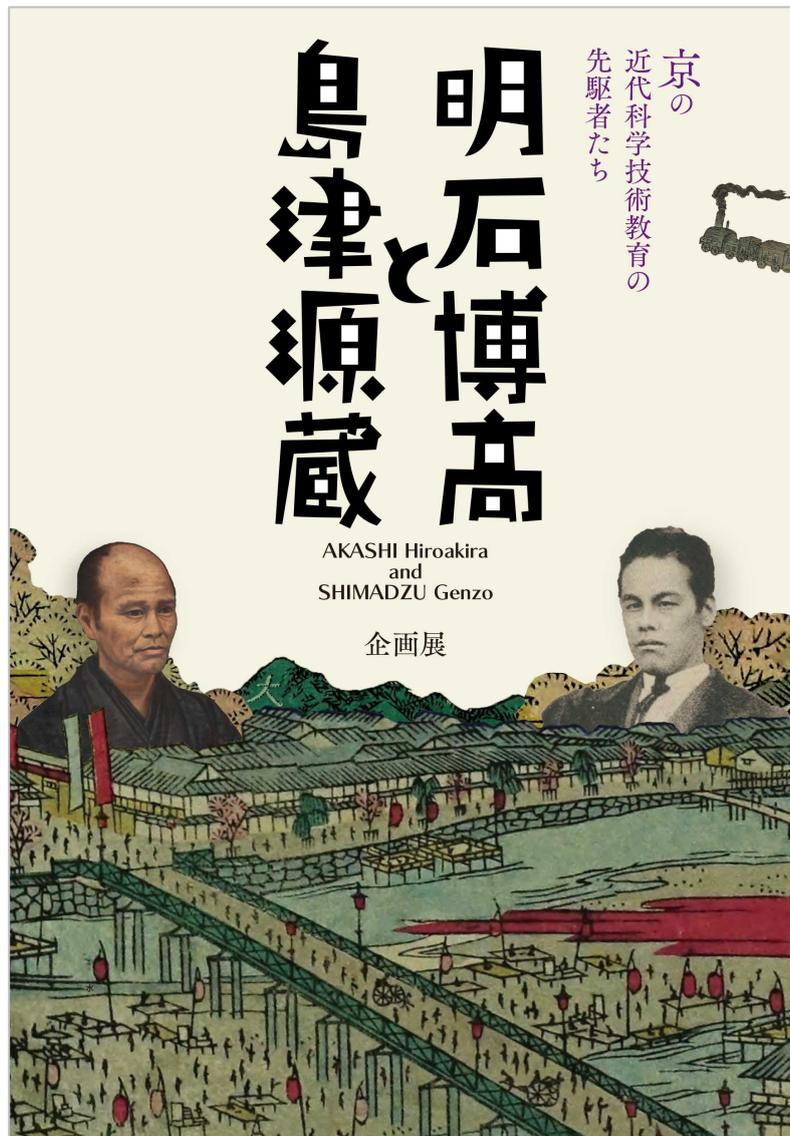
特設ウェブページでは149点にのぼる展示資料ならびに資料解説文のほか、12のコラム、さらには日文研が所蔵する明石博高旧蔵金属標本の成分分析結果も公開します。

これまで近代京都の産業・医療・理化学がそれぞれ別個に紹介されることはありましたが、如上の複数領域を横断する企画展は珍しく、この度の日文研・神田外語大学・島津製作所による「産学連携」で実現しました。また、人文系・理系研究の協同的枠組みでの開催により、文理融合研究の新たな可能性をひらき、京都近代化の新側面と魅力を広く発信するという大きな社会的意義を有する機会となりうると確信しています。

○主 催: 国際日本文化研究センター

○共 催: 神田外語大学、島津製作所 創業記念資料館

* 本展覧会は、人間文化研究機構「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」として実施します。



本件お問い合わせ先:

国際日本文化研究センター 総合情報発信室特任助教 光平 有希(みつひら ゆうき)

TEL: 075-335-2237 (総合情報発信室) E-mail: akashi-shimadzu@nichibun.ac.jp